

鷺見誠一教授退職記念号

序

近代日本における「衛生工事」の進展

—横浜水道の事例から—

森 征一

笠 原 英 彦

萩 原 能 久

「合法性と正統性」再論

—正義と暴力のはざまで—

バンジャマン・コンスタンのアナクロ

ニズム批判のアナクロニズム

堤 林 劍

「征服の精神」におけるナポレオン批判との関連で—

カルヴァンの「契約」論、その政治思想的含意

田 上 雅 徳

ニコライ・ウストリヤロフと「道標転換」運動

廣 岡 正 久

ハイエクの社会・政治思想における理性の役割

萬 田 悦 生

《聖なる教え》としての「政治学」

—トマス政治思想研究への覚書—

柴 田 平 三 郎

実践哲学としてのコミュニタリアニズム

—マツキンタイア、テイラー、ウォルツァー、サンデルの政治思想から—

菊 池 理 夫

『西洋事情』における「文明」と「進歩」

—福次諭吉の歴史哲学研究序説—

安 西 敏 三

クリステイーヌ・ド・ピザンの『国家論』

矢 吹 久

ラディカルな政治のスタイル

—ローティ、ライシュ、アンガー—

有 賀 誠

マイケル・ウォルツァーの寛容論

大 澤 麦

ウイリアム・オツカムにおけるキリスト教的連帯の理念

将 基 面 貴 巳

レヴィナスの倫理における身体的主体

冠 木 敦 子

—その予備的考察—

ホップズの情念論とその政治的射程

川 添 美 央 子

鷺見誠一教授略歴・業績一覧